

泉ヶ岳 & 栗駒山行報告

【山行日】2022年 10月 8(土)～10(月)

【集 合】栃木市運動公園P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 27,700円

【メンバー】CL:鈴木、SL:廣瀬

安西、植竹、大塚、福島

10月8日(土) 泉ヶ岳登山口から滑降コースを登り、下りは水神コースを下って周遊で歩き、秋の宮温泉「おなじみ荘」に宿泊する。

栃木市運動公園 P4:05 = 泉ヶ岳登山口P

7:10/7:35～お別れ峠 8:30～泉ヶ岳 9:55/10:10

～山頂北展望所 10:20/10:30～泉ヶ岳 10:40～水神平 11:30/12:00～泉ヶ岳登山口P 12:30/12:40＝おなじみ荘 15:25



山行アンケートで東北の紅葉をゆっくり見たい、と言うリクエストがあり今回の計画を立てた。

一日目は日本三百名山の泉ヶ岳に登る計画にした。今宵の宿「おなじみ荘」に4時までに入りた



ので、仙台市の北西部泉区にある泉ヶ岳を選んだ。我輩も泉ヶ岳は初めて登るが、仙台市民の憩いの山でコロナ禍の中さらに人気が高まった山である。栃木市運動公園を4時に出発し、東北道をひたすら北上し泉PAスマートインターで降り、県道35号から県道223号線を進み泉ヶ岳スキー場の大駐車場に着く。広い駐車場に車を止め、出発の準備を整えたらトイレに移動し、トイレとストレッチを済ませて出発する。泉ヶ岳の登山コースはいくつかあるが、今日は真ん中の滑降コ

ースを登り、西側の水神コースを下る計画にした。大きな建物の「オーエンス泉岳自然ふれあい館」

の前を通り、舗装道路を登って行くと、滑降コースの標識が立ち右に山道に入っていく。自然林の登山道はとても雰囲気良く、歩きやすい道でリンドウなどの花も残っていた。今日は高校生の山岳部新人大会が開催されるようで、係の先生方が赤と黄色のチェックポイントを設置していた。「お疲れ様です」とあいさつし、山道を登るとお別れ峠に着いた。ここは各コースへの連絡道が通り、十字路になっている。小休止して衣服調整と水分補給を行い、山頂へ向かう。



登りやすい登山道が続き、樹高が低くなって明るくなると見返り平に着いた。

狭い場所だがぽっかりと樹林が切れ、これから登る泉ヶ岳の山容を始めてみる事が出来た。休憩してO塚さんお手製の甘酒と、菓子をいただきエネルギーを補給する。甘酒は「飲む点滴」と言われる



ほど栄養価に富み、疲れた体にとっても良い飲み物である。甘酒に元気をもらい、この先で待ち構える「大壁」の岩場を突破する。大壁を越すとすぐ先でかもしかコースと合流し、ほんのひと登りで泉ヶ岳山頂に着く。山頂は広く平らだが岩でゴツゴツしていて、北の端に山頂の標柱が建っている。山頂標柱前で記念写真を撮り、岩に腰かけてプリンや菓子をいただいた。山頂の北側に展望が開けた場所があるので、北泉ヶ岳方面へ少し行くと、北泉ヶ岳や舟形山の展望

が良い場所に出た。ドウダンツツジが紅葉し、背景の山々がとても綺麗に映る。写真を撮ったら山頂に戻り、西側の水神コースを下って行く。下ると直ぐに開けた場所に出て、ここは「賽の河原」と言われる場所でとても展望が良い。樹林帯の急坂をしばらく下ると水神の碑が立つ場所に出て、その脇を流れる七北田川の畔でランチタイムとした。清流の流れと音に癒されながら、美味しいランチをいただき大満足。ここからの下りは傾斜もゆるくなり、栗を拾いながら楽しく下れた。道路に出て、川沿いの道路を緩やかに下ると、往路の滑降コース入口を通り駐車場に着く。

靴を履き替えたら車に乗り、今宵の宿「おなじみ荘」に向かう。泉PAから東北道に入り、古川ICで降りて国道47号線を鳴子温泉方面へ向かう。途中、「あ・ら・伊達な道の駅」に寄ってお買い物。東北の田舎の道の駅と思って寄ったら、大勢の客で賑わっており大盛況の道の駅だった。鳴子温泉の先で国道108号線へ進み、山の中の道を走ると秋の宮温泉「おなじみ荘」に着く。この宿は建屋は普通の旅館だが、家族でのもてなしがとても評判の宿である。今回神室山を計画に入れたのは、この宿に皆さんを案内したいからでもある。温泉も良い泉質だが、何よりもご家族が心を込めた



お料理は最高に美味である。高級食材は無いが、山の幸をふんだんに使ったおもてなしが気に入っている。温泉の後いつもの反省会が始まり、ビールや焼酎を楽しくいただいた。

夕食の料理がうまいので日本酒を頼み、かなり飲み過ぎたようである。部屋に戻ったらそのまま布団にもぐり、朝まで夢の中だった。

10月9日(日) おなじみ荘から須川温泉Pに移動し、秣岳登山口か秣岳経由で栗駒山まで縦走し、産沼コースを下って須川温泉Pへ下山し須川温泉に宿泊する。

おなじみ 6:00=須川温泉P7:10/7:30~秣岳登山口 8:05~秣岳 9:30/9:40~展望岩頭 11:40~栗駒山 12:20~昼食休憩 12:50/13:20~須川温泉P15:10=須川温泉 15:20

朝5時から温かい朝食を食べることが出来た。宿の方々が早朝から心を込めて作ってくれた、キノ

コづくしの朝食を、感謝の気持ちを込めて美味しくいただいた。朝から青空と朝日に照らされた山の



斜面の紅葉が、赤、黄、緑と色づいている。CLが「一番お勧めの山」初めての東北、初めての栗駒山、初めての秋の山に見とれながら、心ワクワクしている私。須川温泉駐車場から約45分舗装道路を歩き、秣岳の登山口に着く。登山道に一步踏み出したら、2~3日前に降った雨で粘土質の土は水がはけず足元がぬかるみ、「こんなぬかるみ初めてだ」と、一気に緊張が走り滑らないよう足の置き場を探しながら進む。ドロドロの足元にもエゾリンドウが、小さな青い花を精一杯咲かせている姿に励まされながら、

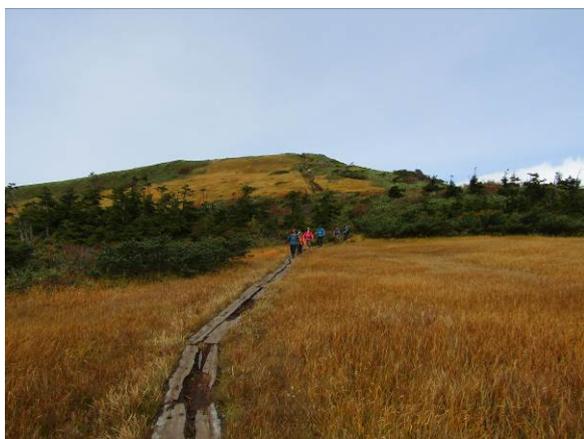
途中衣服調整し一時間以上登る。なるべく平らな所に足を置けるよう考え、段差が高く乗り越えるのに後ろの人にお尻を押してもらったり、先に回って手を引いてもらった時もあった。岩の斜面を進む時も、ここで落ちたら大変だと思い前の人歩いた場所をまねて、平における場所を探しながら進み、渡り終わった時はホッとした場面もありました。秣岳を登り切ると、少し陽射しが出て展望が良く、

高層湿原の草紅葉とストリートビューの紅葉の素晴らしさに感動する。振り返ると登って来た秣岳の紅葉を見ることが出来、励みとなった。途中、岩場の穴があり、とても怖かった。天馬尾根コースへの登りで、CLから「ここから長い登りが始まるぞ」と声が掛かり、気を引き締めて登る。雲も増えて、登山者の行き交う人の多い登山道、真ん中は一人分の低い水溜り、両サイドは高くなって木や枝に掴まりながら進む。滑りながら気持ちが怖くなって、足が震える感もあり、



どこを歩いたら良いか不安になり、すれ違う人から「あわてなくても良いですよ」の言葉にほっと助けられました。延々と長い登りに少しずつ慣れ、不安や怖さが無くなりました。展望岩頭への稜線に

出ると、段々風が強くなりました。こんなに強い風の中を歩いたのも初めての私。風速10mくらいだと教えていただき「会長さん離れないでゆっくり歩いてください。体がふらついたら助けてもらえるよう私も付いて行きますので」とお願いした。ここからは少しなだらかな道、無心に呼吸を整えて歩くことを心がける。須川分岐を通過し「あと少しだから」と励まされながら歩く。展望が無くガスガスの霧も凄くなり、ドキドキしながら疲れた足にムチを打ち、栗駒山頂上に向かいました。やっと着いた頂上は立



派な標柱があり、強風の為記念写真を撮るだけで直ぐに下山する。少し下がった所で、体が寒いので衣服を着る。手も冷たくなり、手袋を持ってきて良かったと思いました。途中、風が当たらない場所を見つけ昼食を摂り、CLから栗もみじまんじゅうをいただき体を休め、やっとほっとした。

これから長い下りが始まります。やはり真ん中はぬかるみの溝、両サイドは高くなって草が生えて



いる。人もずいぶん増えた。登って来る人は右、私は左か真ん中を歩くしかない。滑らないよう平らな所を選び足を置き、真ん中か左かは自分で考え選びながら進む。左の方が草も生えて枝に掴まりやすい。ダメな所は真ん中に降りて、ゆっくりストックを支えにして進む。青い石は滑りやすいので、石と石の間の平らな所に足を置く。2回くらい石が傾いた所でツルっと滑り、心の中で「もうぬかるみ嫌い」と思った時もありました。登る人も多く、譲り合いで進みます。やさしく「あわてないで大丈夫です

よ」の声に助けられた。CLの姿が見えているときは、CLがあそこにいると真似するようになっていた自分がありました。足元をしっかりと見ながら、パツと前も見られるようになった喜びを感じ、ぬかるみ歩きも練習だと思えるようになりました。雨も降り出してきて、下りが混雑し渋滞が起きています。大きな水たまりで、CLが水面に出ている石に足を置いて渡るのをまねした。

この先急な階段を四苦八苦しながら下り、三途の川、ゼッタ沢の渡り、CLの足元を見まねして渡り、どうにか滑らず渡りホッとしました。もう一つ大きな沢を渡る場所に来て、CLが渡り終えてしまい、どうしよう、自分で考えて大きな岩を選びバランスを崩し、右、左、と靴が水についたが靴の中は濡れずに済んだ。あとでOさんに「高い方ではなく、低い石を選ぶと滑らないからね」と教えていただき、また一つ勉強になった。名残ヶ原に出ると木道歩きになり、このあたりは晴れていたら綺麗な紅葉が見られるんだろうなと思った。ここからも人の流れに添って下山し、須川温泉の源泉に着きました。最後は、皆さんで「CLのお蔭で完登出来ました。有難うございます。」と握手を交わし、全員



に「ご迷惑をおかけし、お世話になりました。」とお礼の言葉を述べ、車に向かいます。大変でしたが、晴れて紅葉も見られ、強風、雨、ぬかるみ、沢渡渉を経験でき、初の栗駒山はバンザイ・バンザイで終わりました。

須川高原温泉の自炊棟に宿泊し、日本でも非常にまれな強酸性温泉に浸かり、温泉大好きな私はゆっくり3回も入り、体の疲れを癒しました。夕食・朝食はCLが事前に食材を買い出していたいただき、炊飯器や食材を準備、持参していただきました。夕食は炊き立てのつや姫、牛肉



たっぷりのすき焼き、ポテトサラダ、具沢山の味噌汁等々、皆で楽しみながら自炊し、美味しくいた

だきました。朝食は納豆、目玉焼き、ウインナーソーテー、ポテトサラダ、豆腐の味噌汁等、お腹いっぱいいただきました。初めての東北の紅葉、遠くて運転から何から何までCLにお世話になり、有難うございました。お陰様で、楽しい思い出の登山、泉ヶ岳&秣岳・栗駒山になりました。心より感謝申し上げます。

植竹 記

10月10日(月) 朝から風雨が強い為中尊寺観光は取りやめて、道の駅「巖美溪」と仙台市街の「杜の市場」で買い物と昼食を食べ栃木市運動公園へ帰着。

須川温泉 7:20＝道の駅「巖美溪」8:00/8:20＝杜の市場 11:00/11:50＝栃木市運動公園P15:10

前日の天気予報は100%雨の予報で、東北地方は風も強いとの予報だった。昨日登る計画だった神室山を秣岳から栗駒山に変更して登り、今日は中尊寺と毛越寺の観光に変更した。朝5時に起床し、まずは温泉に入り2日間の疲れを取る。6時から610号室に集合し、朝食の準備に取り掛かる。ご飯が7時に炊き上がるように炊飯器をセットし、目玉焼きとウインナーソーテー、味噌汁を作る。出来たおかずを器に盛り付け、7時丁度にご飯が炊け「いただきます」と朝食を食べる。炊き立てのつや姫に納豆と、豆腐の味噌汁は抜群に相性が良い。お代わりをしたかったが、2日間焼酎を飲み過ぎているのでグツとこらえて我慢した。朝食が済んだら後片付けし、7:30に出ますと皆さんに伝え部屋に戻る。皆さん出発の準備をして、トイレを済ませたらロビーに集合する。売店でリンゴや採れたてのキノコが販売され、我輩はシシ茸とナラ茸をお土産にゲットした。全員揃ったら車を玄関前に移動し、荷物を積み込んだら出発する。風雨が強く傘を差しても足元は濡れそうな勢いで、「この雨じゃ中尊寺は結構歩くので濡れますが、どうしますか？」と聞くと寄らなくて良いとの返事。途中の道の駅「巖美溪」に寄り、まだ並べている新鮮な野菜やリンゴをゲットした。リンゴはアップルパイ用の紅玉とおばちゃんお勧めのトキを買ったが、とても新鮮で美味しくいただいた。一関ICから東北道に入り、栃木市運動公園に向かったが、時間が早すぎるので仙台市の「杜の市場」に寄ることにした。泉ICで降り仙台市街を走り、「杜の市場」に着く。新鮮な野菜やお魚、肉類が並び、とてもリーズナブルな価格で購入できる。皆さんレジ袋をぶら下げて戻り、車に買ったものを置いて昼食を食べに行く。市場内にいくつか飲食店があり、皆さんが海鮮丼を食べたいというので店に入る。美味しい海鮮丼をいただき、お腹が満たされたら帰路につく。東北道に入って栃木に向かい、無事3日間の東北の山行が終了した。